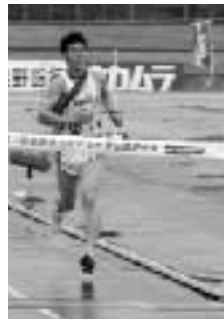


5
7初出場！
市町村対抗駅伝8位入賞

↑初出場で堂々の8位入賞。
勝利に向け、9人がたすきをつないだ。
←同日行われた小学生の駅伝大会のスタート前。緊張の瞬間。

県市町村対抗駅伝			
長野市	5位	塩尻市	
上根市	6位	下諏訪町	
日田市	7位	千曲市	
本多市	8位	安曇野市	



アンカー臼居優選手の力走→

第16回長野県市町村対抗駅伝競走大会が5月7日、松本平広域公園陸上競技場を発着として行われました。

この日は、県下59市町村が参加し、強風と時折雨が降るコンディションの中、選手たちは9区間42.195kmで健脚を競い合いました。安曇野市は、比較的若いメンバー

を中心にチームを構成し、新市となって初めての出場を果たし、たすきをつなぎました。レースでは、総合6位まで順位を上げるなど見せ場を作り、最終的には総合8位入賞を果たしました。監督の和田泰正さんは「新チームのスタートにふさわしい成績が残せた」と話してくれました。

また、この日は第2回長野県市町村対抗駅伝小学生駅伝競走大会も行われ、51市町村が参加しました。大会前に市の競技会を開き、選ばれた市内の小学生の男女各2人が参加しました。家族や友だちなどの声援を受けながら選手たちは、1.5kmのコースを元気に駆け抜け、総合18位の力走でした。

5
4

春の青空に響け「早春賦」の音色



↑4月29日に行われた「早春賦まつり」→「吉丸一昌賞作詞コンテスト」で入賞した古屋さん親子



雪で覆われた安曇野で暮らす人々の春を待つ心を歌った「早春賦」。4月から5月にかけて、この歌を顕彰する催しが、市内各地で開かれました。

5月4日に国営アルプスあづみの公園で開かれた早春賦音楽祭では、公園が開園して以来最高の約1万5,500人が会場を訪れました。園内には3つの野外ステージが設けられ、ラジオの公開録音や地元ミュージシャンによる演奏に親子連れなどが耳を傾けていました。また、早春賦に続く新しい愛唱歌を発信しようといわれた「『安曇野に寄せる心の詩』吉丸一昌賞作詞コンテスト」では、市内外から寄せられた約500点の中から7点が入賞。吉丸一昌賞には、穂高の古屋草さん、はるかちゃん親子が選ばれました。

5
5

郷土の詩人・藤森秀夫をしのんで

豊科童謡まつりが5月5日、豊科公民館ホールで行われました。

この催しは、「めえめえ児山羊」を作詞したことで知られる豊科出身の詩人・ドイツ文学者の藤森秀夫を顕彰するために開催され、今年で43回目を迎えます。この日は、藤森氏作詞曲の披露のほか、第25回作詞作曲コンクールの最優秀賞作品、各入賞者の発表や、

狭間壮とムジカコンパスによるコンサートが行われました。作詞作曲コンクールでは、全23点の応募の中から、最優秀賞に豊科南小6年の草野美音さんの「あの時の友達」、優秀賞には豊科南小2年の鈴木優子さんの「わたしとこいぬ」、豊科北中1年の鳥羽萌さんと小林美沙希さんの合作「くまさん」が選ばれました。



毎年「こどもの日」に開催

4
23安曇野の春を
ハイキングしながら満喫

J R東日本が企画したハイキングをしながら安曇野の春を満喫する「駅からハイキング」が4月23日、豊科の光城山と明科の長峰山を巡る約8kmのコースで行われました。この日は、関東や市内外から約150人が参加しました。参加者は、新緑の安曇野を思い思いのペースで歩き、長峰山頂に到着すると、眼下に広がる安曇野の風景に足を止め、見入っていました。



新緑の安曇野を眼下に望む

4
9大人も夢中
紙ヒコーキ競技大会

大空めがけて

安曇野紙ヒコーキ大会＝飯沼飛行士記念大会＝が、4月9日、豊科南部総合公園で行われ、遠くは四国から来た愛好者ら約100人が参加しました。大会は豊科出身の名パイロット・飯沼正明飛行士にちなんだ大会で今回で7回目を迎えます。当日は、晴天に恵まれたものの強風に見舞われ、選手たちは紙ヒコーキを見失わないよう目を凝らし、その行方を追っていました。

4
29春の褒章と叙勲
市内から4人受章

今春の褒章と叙勲の受章者が4月29日付で発表されました。市内からは、褒章では神谷明さん(穂高)が行政相談功績で、真峯嗣さん(堀金三田)が統計調査功績で藍綬褒章をそれぞれ受章。叙勲では臼井益子さん(穂高北穂高)が更生保護功勞で瑞宝双光章を、中島光之さん(穂高)が矯正事務功勞で瑞宝単光章を受章しました。

市長を表敬訪問する
神谷さん(写真中央)と真峯さん(右)

5
2三郷・中村家住宅主屋などが
国登録有形文化財に

江戸時代後期の木造平屋建ての主屋

三郷にある中村家住宅がこのほど国の登録有形文化財として登録されたことを受けて5月2日、望月映洲教育長から所有する中村弘さんに登録証を手渡しました。中村家は、江戸後期に建てられてた住宅主屋のほか、幕末から近代にかけての民家の様式を伝える土蔵・納屋・門・塀など5件が登録を受けました。こうした貴重な国登録有形文化財は、市内で6カ所になりました。